

公共交通を考えるワークショップ

第3回

この地域のくらしの足を
どうしたらよいか？

みんなで考える
ワークショップ

草花折立下区域

日時：平成30年11月4日（日）
午前10時～午前12時（予定）
場所：折立会館



ワークショップの実施にあたって

1) ワークショップの進め方

第1回（9月15日（土））・・・開催済み
「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」

第2回（10月6日（土））・・・開催済み
「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

第3回（本日）
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

⇒あるべき姿を踏まえて、さらに具体的に考えます。

地区にお住まいの方（抽出）に
アンケート調査を実施予定

第4回（平成31年1月13日（日）午前10時～）
「地域の交通手段を考えよう」

⇒ワークショップの結果を、地域の案としてまとめます。

ワークショップの実施にあたって

2) 本日のワークショップで行いたいこと

第2回ワークショップまでのふりかえり

- この地区の第2回ワークショップまでのふりかえり
- (参考) ほかの地区における第2回ワークショップまでの意見の概要

グループワーク

- (1) この地区の交通サービスの方向性(素案)の確認
- (2) それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット(良い面と悪い面)がありますか?



ワークショップの実施にあたって

3) ワークショップでの“約束”

- たくさんの意見・アイデアが大事です。正解はありません。思い切って自分の思いをお話ください。
- 考え方は人それぞれです。自由な意見交換ができる雰囲気づくりを心がけましょう。
(最初から意見を否定・非難しない。人の話をさえぎらないなど)
- みなさんがたくさんの意見を出せるよう、1人のお話が長くなり過ぎないよう心がけましょう。

ご協力お願いします！！



ワークショップの実施にあたって

3) ワークショップでの“約束”

- 会議ではいろいろな意見が出るとは思いますが、
「最後はまとめる」ことを心がけましょう。
- せっかくの機会なので、楽しく、前向きな意見交換をしましょう。（文句ではなく、リラックスして話しましょう。）

ご協力お願いします！！



第2回ワークショップまでのふりかえり

第1回ワークショップで出たご意見 「地域の現状を知ろう」

■ 外出の目的と目的地

- 全体的に「通院」と「買物」が多く、遊び、仕事（会合）、娯楽等を一部の方が指摘。行き先は市内及び近隣市町が大半。

■ 交通手段

- 多くの方は自家用車利用。ご家族の送迎や、徒歩、自転車の方、また福生駅から鉄道利用の方もいる。

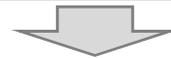
■ 外出で困っていること（主なもの）

- バス停が遠い・バスが不便。
- 免許を返納すると交通手段が無くなるため不安。
- 坂が多く、徒歩や自転車での移動が困難。
- 行きは家族に送迎を頼めても、帰路まで頼むのは気兼ねするため、結局自力で戻らざるを得ない。
- 送迎を友人に頼むのは気兼ねする。
- るのバスも使うが、行きはダイヤに合わせられても、帰りに都合の良い便があるとは限らないため、徒歩などになる。

第2回ワークショップまでのふりかえり

第2回ワークショップで出たご意見「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

- 【1つ目のグループワーク】この地区の交通に、どのような機能や役割が必要か？
- 【2つ目のグループワーク】そのうち、特に優先的に必要なものは何か？



この地区に優先的に必要なもの（テーブルごとの意見を集約） 1 / 2

大分類	小分類	優先的に必要なもの
利用者	-	<u>免許返納後の高齢の方</u> 、自分で車を <u>運転できない方</u> など
目的	-	福生などの <u>鉄道駅や病院への足を確保</u> する。
交通サービス	るのバスを通す	<ul style="list-style-type: none"> • <u>るのバスを小型化し、急坂下まで通してほしい。</u> (草花団地内へのワンボックスカータイプによる乗入。乗合タクシーの運行など) • 福生駅までの循環バスがほしい。 • あきる野市全体にるのバスを走らせる。
	タクシー代を補助する	<ul style="list-style-type: none"> • 病院に行くときなどに利用する<u>タクシー料金の割引、タクシー代の補助。</u> (るのバス運行までの暫定措置。あるいは、るのバス導入が無理な場合の措置)

第2回ワークショップまでのふりかえり

この地区に優先的に必要なもの（テーブルごとの意見を集約） 2/2

大分類	小分類	優先的に必要なもの
交通サービス (続き)	自宅の前から目的地まで行ける交通を通す	<ul style="list-style-type: none">• <u>自宅の前から目的地まで行けるようにする。</u>• タクシーの相乗り。（目的地が同じ人で同乗）
	その他	<ul style="list-style-type: none">• <u>路線バスを便利にする。</u> (西東京バスのルート変更。福生行きバス停を永田橋近くに移動など)• <u>隣接市町、企業等との連携。</u> (福生、羽村、日の出など近隣市町と連携（共同運行）。スーパー等をスポンサーに。病院からの送迎バスの運行など)• <u>折立地区専用車の導入。</u>• <u>市営自転車の整備。</u> (レンタサイクル・シェアサイクル)

第2回ワークショップまでのふりかえり

(参考) ほかの地区における第2回ワークショップまでの意見の概要

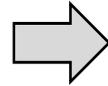
別紙「各区域における第2回までの検討結果概要」参照



本日のグループワークについて

第1回ワークショップ

この地区の交通の現状、問題



第2回ワークショップ

この地区の交通のあるべき姿



第3回ワークショップ

※地区の交通について、さらに考えます。

この地区の交通サービスの方向性（素案）

（資料11～14ページ）

1) この地区の交通サービスの目的

2) 検討を進める交通サービス（候補）

- 定期路線運行型交通の導入
- タクシー代の補助
- ドアtoドアの交通
- . . .

グループワーク1

「この地区の交通サービスの方向性（素案）」の目的と交通サービス（候補）を確認します。

グループワーク2

それぞれの交通サービス（候補）のメリット、デメリット（良い面、悪い面）を確認します。

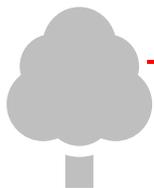
グループワーク（１）

この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

- ①この地区の交通サービスの目的
- ②検討を進める交通サービス（候補）

- ・次ページ以降に「この地区の交通サービスの方向性（素案）」を示します。
- ・「目的」や「交通サービス（候補）」は、あなたの考えやイメージと、大きなずれはないでしょうか？
(方向性がまったく違うなど、特に大きな問題があれば、ご意見をください。)

※この後、交通サービスについてさらに検討していきます。その検討対象がこの候補でよいか、確認をお願いします。



この地区の交通サービスの方向性（素案）

1. この地区の交通サービスの目的

急坂下にも配慮して、
鉄道駅や病院への足を確保する。

2. 主な利用者の想定

- 免許返納後の高齢の方
- 自分で車を運転できない方など



3. 導入を検討したい交通サービス（候補） 1 / 3

分類	サービス内容		備考
1) <u>定期路線 運行型交通 の導入</u>	<ul style="list-style-type: none"> 決まった路線と決まったダイヤで、車両を運行する。 	1)-1 <u>従来の「<u>るのバス</u>」を走らせる。</u>	<ul style="list-style-type: none"> 従来のルートを変更して運行。 またはバスを増やして新たにルートを設定。
		1)-2 <u>小型の車両を走らせる。</u> （草花区域の急坂下までも通すため）	<ul style="list-style-type: none"> 10人以下の車両の場合は、一般的に<u>乗合タクシー</u>といわれる。
2) <u>タクシー代の補助</u>	<ul style="list-style-type: none"> タクシー代を補助する。 		<ul style="list-style-type: none"> 移送サービス※との役割分担が特に必要。

※移送サービスについて

- あきる野市社会福祉協議会では「移送サービス」を行っています。
- 高齢者、障がい者などでタクシーを含む公共交通機関を利用することが困難な方を対象に、協力員が福祉車両で自宅から医療機関などへ送迎するサービスです（介護保険認定の有無や障がい者手帳の有無等は関係ありませんが、いわゆる「元気な方」は利用できません）。
 利用時間：午前9時から午後5時、利用料：800円（30分以上1時間未満）
 1時間以上は30分につき400円。

3. 導入を検討したい交通サービス（候補）2/3

分類	サービス内容		備考
3) <u>ドアtoドアの交通</u>	<ul style="list-style-type: none"> 自宅の近くから目的地まで行けるように、車両を運行する。 	3)-1 <u>タクシーの相乗り</u> （目的地が同じ人で同乗）	<ul style="list-style-type: none"> 地区で<u>公的な仕組みを作る</u>。 または、<u>利用者が独自に行う</u>。
		3)-2 <u>自家用車の相乗り</u> （目的地が同じ人で同乗）	<ul style="list-style-type: none"> 地区で<u>公的な仕組みを作る</u>。 または、<u>利用者が独自に行う</u>。
4) <u>路線バスの利便性向上</u>	<ul style="list-style-type: none"> 今ある路線バスを、使いやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①西東京バス福23系統を<u>草花区域に迂回させる</u>。 ②永田橋付近の<u>バス停を移動させる</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> 福23系統：福生駅西口～阿伎留医療センター バス停は、使いやすい場所に移動させる。

3. 導入を検討したい交通サービス（候補） 3/3

分類	サービス内容		備考
5) <u>住民主体の交通手段</u>	<ul style="list-style-type: none"> 住民の自主運行による交通手段を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 決まった路線と決まったダイヤで運行。 	<ul style="list-style-type: none"> 盆堀地区地域交通事業のような、住民の自主運行による交通手段を導入。 ドアtoドアの交通もありえる。
6) <u>自転車の共同利用</u>	<ul style="list-style-type: none"> 地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①最寄りのバス停までの移動に利用 ②駅や病院等への移動にも利用 	<ul style="list-style-type: none"> ①は、バス停近くと地区内に駐輪スペースの確保が必要。

※分類名やサービス内容については、ワークショップで出たご意見をもとに、内容が適切に表現できるように表現を修正しています。

また、「隣接市町、企業等との連携」については、表中の各交通サービスに関わることであり、また隣接市町や企業等との調整が必要なため、表からは外してあります。

グループワーク（２）

それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

交通サービス（候補）の主なメリット、デメリット 1 / 2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) <u>定期路線運行型交通の導入</u>	1)- 1 <u>従来の「るのバス」を走らせる。</u>	<ul style="list-style-type: none"> • 決められた時間で運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>急坂下まで通行できない。</u> • 市全域での調整が必要であり、検討に時間がかかる。
	1)-2 <u>小型の車両を走らせる。</u> (草花区域の急坂下までも通すため)	<ul style="list-style-type: none"> • <u>急坂下まで通行できる。</u> • 決められた時間で運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 導入のための経費がかかる。
2) <u>タクシー代の補助</u>	<ul style="list-style-type: none"> • タクシー代を補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> • <u>導入しやすい。</u> • 行きたい場所に直接行ける。 	<ul style="list-style-type: none"> • 定期路線運行型と比べ、自己負担額が大きくなる可能性が高い。 • ドライバーがいないと待ち時間が発生する。

交通サービス（候補）の主なメリット、デメリット 2 / 2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
3) <u>ドアtoドアの交通</u>	3)-1 <u>タクシーの相乗り</u> （目的地が同じ人で同乗）	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>利用者が独自に行う場合には、すぐできる。</u> ・ 1人で利用するより自己負担額が小さい。 ・ 家の前から乗れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相乗りの状況が発生しないとメリットを得られない。
	3)-2 <u>自家用車の相乗り</u> （目的地が同じ人で同乗）	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>導入しやすい（利用者が独自に行う場合には、すぐできる）。</u> ・ 地域コミュニティの強化に役立つ。 ・ 家の前から乗れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>安全性に懸念。</u> ・ 料金をとるかどうかなどの地域におけるルールづくりが必要。
4) <u>路線バスの利便性向上</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今ある路線バスを、使いやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の路線バスが利用しやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通事業者との調整が必要である。 ・ <u>道路幅員等により物理的に困難な場合がある。</u>
5) <u>住民主体の交通手段</u>		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>導入しやすい</u>（方法によってはすぐに導入できる）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>安全性に懸念。</u> ・ 料金をとるかどうかなどの地域におけるルールづくりが必要。
6) <u>自転車の共同利用</u>		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>導入しやすい</u>（方法によってはすぐに導入できる）。 ・ 環境にやさしい。 ・ 健康づくりに役立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天候に左右されやすい。 ・ 比較的体力のある方の利用に限定される。 ・ 管理に課題がある。

次回予定

第4回（平成31年1月13日（日）午前10時～）
「地域の交通手段を考えよう」

内容（予定）・・・変更になる可能性があります。

○地区へのアンケート調査の結果報告

○素案の提示

- ・第3回までの内容と地区へのアンケート結果を踏まえてまとめたものをご説明する予定です。

○グループワーク

- ・素案を踏まえて、この地区の交通について地区の案としてまとめる予定です。

※この地区に（公共）交通を入れるにあたり、みなさまにご協力いただける部分があるのかどうか、お聞きする予定です。（考えておいていただけると幸いです）



(参考資料) ワークショップについての補足

1) ワークショップ開催の趣旨

2000年10月
(平成12年)

るのバス開業

2015年度
(平成27年度)

公共交通の利用に関する市民意識調査の実施

2016年度
(平成28年度)

「あきる野市公共交通のあり方検討会議」を設置
⇒ 「あきる野市公共交通のあり方に関する提言書」

2017年度
(平成29年度)

「あきる野市公共交通のあり方検討報告書」
⇒ 優先的に公共交通対策を検討する必要がある地区を、市が「公共交通優先検討区域」と設定



〔深沢区域、引田・代継・網代区域、
草花折立下区域、東秋川橋西側区域〕

「草花折立下区域」も該当

ワークショップを開催して、地区の交通の現状、課題、あり方などについて、地区のみなさまと一緒に考えていきます。

2) ワークショップを行う理由

- ① 区域の皆様が日ごろ交通手段をどうされているかは区域の皆様にお伺いするのが一番です。
- ② 様々な交通手段を考えるために、区域の皆様からご協力いただける部分があるのかどうかをお教えてください。
- ③ 公共交通対策などを進めるに当たり、市民の皆様と行政とで共通の認識を持つことが必要です。



そのため、この取り組みへ積極的な参加・ご協力をお願いします。

3) ワークショップの成果

ワークショップの成果（予定）

ワークショップ（第1回～第4回）



「新たな公共交通の導入は必要なのか」、
「必要な場合、どのような交通手段を入れるのがよいか」
ということについて、地区としての案をまとめます。



今後の取り組みを進めるうえでの検討材料として活用。

- 市が設定した4つの「公共交通優先検討区域」（深沢区域、引田・代継・網代区域、草花折立下区域、東秋川橋西側区域）での案を踏まえ、この4つの区域の内、優先的に対策が必要な区域がどこかを考えます。
- 来年度以降、実証実験の実施について検討します。